

科目名	データサイエンスの基礎										ナンバリング	GE_D1_01	開講 キャンパス	佐賀											
担当者	福元 裕二・平田 孝治・武富 和美・吉村 浩美・田中 知恵・高元 宗一郎・牛丸 和人・春原 淑雄・清水 陽香・矢ヶ部 陽一																								
開講年次	1	開講期	後期						単位数	2	必修・選択	必修													
開講学科	全学科						分類	共通教育科目 教養科目																	
授業の概要 及びねらい	今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事等の場で使いこなすことが出来る基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。																								
実務経験に 関連する 授業内容	情報教育における実践教育の実施のため、連携協定に基づいて、株式会社オプティムの村田恵介先生を特別講師として招聘している。																								
授業の 到達目標	多様な情報や知識を効果的に活用するために必要な基礎的技術と、問題を発見し解決するための考え方を体験的に身につける。 (1) データサイエンスを学ぶ理由を説明することができる。 (2) 自分の興味ある分野におけるデータサイエンスの活用方法を説明することができる。 (3) データサイエンスの基本的技術について説明することができる。																								
学習方法	オンラインでの講義とする。講義では内容に応じてグループワークやデータを用いた体験的学習を行う。また、反転学習を行う場合もある。オムニバス形式の授業とする。課題は、ポータルサイトでの提出とする。																								
テキスト及び 参考書等	テキスト：特に指定しない。各教員が配布する資料を利用する。 データや動画等のオープンリソースを学習教材に使用する。 参考書籍：「AIリテラシーの教科書」：浅岡伴夫、松田雄馬、中松正樹：東京電機大学出版局																								
	到達目標																								
	態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			合計
	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	
比率	10		20		10			20	30			10													100
評価基準・方法																								評価割合%	
定期試験																									
小テスト等																									
宿題・授業外レポート		○			○			◎			○														80
授業態度		○			○			◎			○														20
受講者の発表																									
授業への参加度																									
その他																									
合計																								100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)																									

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）			※項目
第1週	事前学習(予習)	「数理」「データサイエンス」「AI」の意味を調べる	項目①
	授業	データサイエンスの概要（オリエンテーション含む）（福元学長）	
	事後学習(復習)	データサイエンス（AI）に関連する本、記事をWebで探してみる	
第2週	事前学習(予習)	自分の身の回りでデータとして取得されていると思われるものを考える。	項目②
	授業	社会で活用されているデータについて（データ・AIの活用領域）（高元）	
	事後学習(復習)	日常生活の中でデータとして活用できるものを考える。	
第3週	事前学習(予習)	データサイエンスやAIの利活用例を調べてみる。	項目①
	授業	データ・AI利活用のための技術 データ・AI利活用の現場 データ・AI利活用の最新動向（高元）	
	事後学習(復習)	自分の興味のある分野で、データサイエンスやAIを活用したら便利だと思うものを考える。	
第4週	事前学習(予習)	生命科学とこれに関係するデータサイエンスとのつながりを考えておく。	項目②③
	授業	生命科学とデータサイエンス（AI）（平田先生）	
	事後学習(復習)	授業内容を振り返り、今後のAI活用を考える。	
第5週	事前学習(予習)	栄養の分野でどのようにAIが利活用されているか調べる	項目②③
	授業	栄養とデータサイエンス（AI）（武富先生）	
	事後学習(復習)	授業内容を振り返り、栄養の分野であつたら便利だと思うAIを活用したツールを考えてみる	
第6週	事前学習(予習)	健康に関するデータにどんなものがあるか調べてみる。	項目②③
	授業	健康とデータサイエンス（AI）（吉村先生）	
	事後学習(復習)	自分だったら健康に関するどんなデータを取り、何を明らかにしてみたいかを考えてみる。	
第7週	事前学習(予習)	自然や普段の生活の中に存在するデータや役立つモノづくりをする企業（製造業）を調べる。	項目②③
	授業	化学とデータサイエンス（AI）（田中先生）	
	事後学習(復習)	授業を振り返り、データサイエンス（AI）の活用と意義を考える。	
第8週	事前学習(予習)	アート（直感やひらめき）がなぜデータサイエンスに求められるのかについて考えておく。	項目②③
	授業	アート（「直感」や「ひらめき」）とデータサイエンス（牛丸先生）	
	事後学習(復習)	授業を踏まえて、自分がめざす職業において、どのようなデータを活用して仕事に生かしていきたいのかについて考察する。	
第9週	事前学習(予習)	医療や福祉の現場におけるデータなどの根拠に基づく実践例やAIの活用方法について調べる。医療・福祉の実践において、なぜ根拠となるデータが必要なのか、その理由について考えてみる	項目②③
	授業	医療・福祉領域におけるデータ・AIの活用（矢ヶ部先生）	
	事後学習(復習)	これからの医療・福祉の現場においては、AIがどのように活用されていくのか。これからの医療・福祉分野におけるデータサイエンスの活用方法について考察してみる。	
第10週	事前学習(予習)	数値で表すことが難しいことばをデータとして扱う方法がないか考えてみる	項目②③
	授業	ことばとデータサイエンス（AI）（春原先生）	
	事後学習(復習)	授業内容をふまえて、自分が興味を持ったことばを分析してみる	
第11週	事前学習(予習)	心理学とデータのつながりを考えてみる	項目②③
	授業	心理学とデータサイエンス（AI）（清水先生）	
	事後学習(復習)	授業内容をふまえて、自分だったら心に関するどんなデータを取ってみたいか考える	
第12週	事前学習(予習)	AIサービスを調べ、今一番ホットなAIサービスを挙げる。	項目③
	授業	データサイエンスの具体的事例（マーケティングAI）（村田先生）	
	事後学習(復習)	自分の専門領域における困りごとを挙げ、それをAIやデータサイエンスでどう解決するか考える。	
第13週	事前学習(予習)	集まったデータの特徴を表す方法について調べる	項目⑤
	授業	データサイエンスの基本的技術（高元）	
	事後学習(復習)	手元のデータを計算してみる。	
第14週	事前学習(予習)	大量のデータを扱う際に、気を付けるべきことは何か。また、そのための技術について調べる	項目④
	授業	データ・AIを扱う上での注意事項（高元）	
	事後学習(復習)	自分自身の個人情報を守るためには、どのようなことに気を付けないといけないかを考える。	
第15週	事前学習(予習)	第1回～14回の内容を振り返り、データサイエンスを人に説明する場合、どのように説明するか考える。	
	授業	まとめ（高元）	
	事後学習(復習)	自分の興味のある専門分野でデータサイエンスとして、分析したいものを考えてみる。	
備考	<p>レポートは、基本的にteamsを利用して提出すること（教員の指示に従うこと）。レポートは、第1回で1回、第2回～第3回で1回、第4回～第11回で1回、第12回で1回、第13回～15回で1回、合計6回を予定。</p> <p>「生命科学」については、予め内容を把握しておくことが好ましい。</p> <p>講義の順番は、都合により変更する場合がある。</p> <p>事前・事後学習の時間は、講義科目は各90分、演習・実験・実習科目は各30分を原則とする。</p> <p>課題（試験やレポート等）に対するフィードバックを行います。</p>		

※数理・データサイエンス・AI教育認定プログラム審査項目

科目名	SDG s 入門											ナパリンク	GE_D2_01	開講 キャンパス	佐賀										
担当者	福元 裕二・平田 孝治・西岡 征子・鶴 和也・野口 美乃里・金丸 智美・大村 綾・占部 尊士																								
開講年次	1			開講期	前期						単位数	2			必修・選択	必修									
開講学科	全学科						分類	共通教育科目 教養科目																	
授業の概要 及びねらい	2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」（以下SDGs）について知り、地球規模で深く考えることで、地球市民の一員としての成長を促し、世界の課題に対する理解を深める。SDGs 推進に取り組んでいる政府や地方自治体、企業などの具体的事例の学習を通じて、自分にできることをどのように実践していくのか、その思考力を養う。																								
実務経験に 関連する 授業内容	それぞれの分野における実務経験者等が中心となり講義を担当する。																								
授業の 到達目標	多様な情報や知識を効果的に活用するために必要な基礎的技術と、問題を発見し解決するための考え方を体験的に身につける。 (1) データサイエンスを学ぶ理由を説明することができる。 (2) 自分の興味ある分野におけるデータサイエンスの活用方法を説明することができる。 (3) データサイエンスの基本的技術について説明することができる。																								
学習方法	オンラインでの講義とする。また、オムニバス形式の授業とする。 テキストおよび配布プリントに基づいて進めていく。また、学習状況に応じてテキスト以外の教材を活用する。 学修ポートフォリオを活用し、レポートの提出などを求めることがあります。																								
テキスト及 び参考書等	テキスト：川廷昌弘著「未来をつくる道具 わたしたちのSDGs」（ナツメ社） 参考書籍：Think the Earth著「未来を変える目標 SDGsアイデアブック」（紀伊國屋書店） 池上彰監修「世界がぐっと近くなる SDGsとボくらをつなぐ本」（学研プラス）																								
	到達目標																								
	態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的 思考力			態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的 思考力			合計
	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	
比率	20			20	10		20			20	10														100
評価基準・方法																									評価割合%
定期試験																									
小テスト等																									
宿題・授業外レポート	○			◎						○															60
授業態度																									
受講者の発表																									
授業への参加度	○						◎																		40
その他																									
合計																									100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)																									

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）			※項目
第1週	事前学習(予習)	シラバスやテキストを基に学習内容を確認し、講義に備えておくこと。	
	授業	SDGsとは何かーなぜ学ぶのか（オリエンテーション含む）（担当：福元裕二学長、占部）	
	事後学習(復習)	「SDGsを学ぶ意義」について理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第2週	事前学習(予習)	参考書籍や配布物を参考に事前学習し、講義に備えておくこと。	
	授業	持続可能な開発目標（5つの分類と17の目標）ーその背景と展望（担当：占部）	
	事後学習(復習)	「持続可能な開発目標（5つの分類と17の目標）」について理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第3週	事前学習(予習)	参考書籍や配布物を参考に事前学習し、講義に備えておくこと。	
	授業	SDGsの理解ー豊かさ（Prosperity）について知る（担当：野口）	
	事後学習(復習)	授業内容の要点を整理し、授業で扱ったテーマに関する理解を深めておくこと。	
第4週	事前学習(予習)	「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」「働きがいも経済成長も」「産業と技術革新の基盤をつくろう」「人や国の不平等をなくそう」「住み続けられるまちづくりを」などのテーマに沿って事前に調べておくこと。	
	授業	SDGsの取り組みー豊かさ（Prosperity）について考える（担当：野口）	
	事後学習(復習)	「人々の豊かさにおけるSDGsの取り組み」について理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第5週	事前学習(予習)	参考書籍や配布物を参考に事前学習し、講義に備えておくこと。	
	授業	SDGsの理解ー地球（Planet）について知る（担当：西岡）	
	事後学習(復習)	授業内容の要点を整理し、授業で扱ったテーマに関する理解を深めておくこと。	
第6週	事前学習(予習)	「つくる責任つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」などのテーマに沿って事前に調べておくこと。	
	授業	SDGsの取り組みー地球（Planet）について考える（担当：西岡）	
	事後学習(復習)	「地球環境におけるSDGsの取り組み」について理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第7週	事前学習(予習)	参考書籍や配布物を参考に事前学習し、講義に備えておくこと。	
	授業	SDGsの理解ー平和（Peace）について知る（担当：大村）	
	事後学習(復習)	授業内容の要点を整理し、授業で扱ったテーマに関する理解を深めておくこと。	
第8週	事前学習(予習)	「平和と公正をすべての人に」のテーマに沿って事前に調べておくこと。	
	授業	SDGsの取り組みー平和（Peace）について考える（担当：大村）	
	事後学習(復習)	「平和な社会におけるSDGsの取り組み」について理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第9週	事前学習(予習)	参考書籍や配布物を参考に事前学習し、講義に備えておくこと。	
	授業	SDGsの理解ーパートナーシップ（Partnership）について知る（担当：鶴）	
	事後学習(復習)	授業内容の要点を整理し、授業で扱ったテーマに関する理解を深めておくこと。	
第10週	事前学習(予習)	「パートナーシップで目標を達成しよう」のテーマに沿って事前に調べておくこと。	
	授業	SDGsの取り組みーパートナーシップ（Partnership）について考える（担当：鶴）	
	事後学習(復習)	「パートナーシップ」について理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第11週	事前学習(予習)	参考書籍や配布物を参考に事前学習し、講義に備えておくこと。	
	授業	SDGsの取り組みー人間（People）について知る（担当：金丸）	
	事後学習(復習)	授業内容の要点を整理し、授業で扱ったテーマに関する理解を深めておくこと。	
第12週	事前学習(予習)	「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に保健と福祉を」「質の高い教育をみんなに」ジェンダー平等を実現しよう」「安全な水とトイレを世界中に」などのテーマに沿って事前に調べておくこと。	
	授業	SDGsの取り組みー人間（People）について考える（担当：金丸）	
	事後学習(復習)	「人間として生きるうえでのSDGsの取り組み」について理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第13週	事前学習(予習)	各目標と取組事例を振り返り、専門分野との関わりをまとめておくこと。	
	授業	地域生活支援分野にみるSDGsについてデータから考える（担当：平田）	項目②
	事後学習(復習)	今後の課題を発見し、解決策を考えまとめる。	
第14週	事前学習(予習)	保育・幼児教育分野でのSDGs推進の取り組みについて事前に調べておくこと。	
	授業	保育・幼児教育分野にみるSDGsについてデータから考える（担当：占部）	項目②
	事後学習(復習)	保育・幼児教育分野でのSDGs推進の取り組みについて理解できたことをノートにまとめておくこと。	
第15週	事前学習(予習)	これまでの学習内容についてまとめたノートを参考に振り返りを行い、理解度を確認しておくこと。	
	授業	SDGs推進への取り組みについてデータから考える（まとめと実践に向けて）（担当：占部）	項目②
	事後学習(復習)	地球市民の一員として理解すべき「SDGs推進への取り組み」の内容についてまとめること。	
備考	<p>授業計画の各週の内容は、授業で取り上げる主な事項を示しています。          授業計画はあくまで予定であり、進度に応じて変更が出る場合があります。          提出物は締切厳守。かならず期日を守るように心がけてください。          課題は、第1回、第3回、第5回、第7回、第9回、第11回、第13回、第15回でそれぞれ講義の感想を提出すること。          レポートは、第2回、第4回、第6回、第8回、第10回、第12回でそれぞれ1回、合計6回を予定。          レポートや課題は、基本的にポータルサイトを利用して提出すること。          配布資料などにおいて特別な配慮が必要な場合は、事前に申し出てください。          事前・事後学習の時間は、講義科目は各90分、演習・実験・実習科目は各30分を原則とする。          課題（試験やレポート等）に対するフィードバックを行います。</p>		

科目名	SDG s の実践											ナパリンク	GE_D2_02	開講 キャンパス	佐賀										
担当者	福元 健志・尾道 香奈恵・松田 佐智子・馬場 由美子・立川 かおり・牛丸 和人・川邊 浩史・中島 加奈・占部 尊士																								
開講年次	1	開講期	後期						単位数	1	必修・選択	必修													
開講学科	全学科						分類	共通教育科目 教養科目																	
授業の概要 及びねらい	2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」（以下SDGs）について、専門分野に関連する内容を含む諸課題に対し、多様な分野で実践している専門家と対話しながら、解決に向けた実践事例やヒントとなる考え方等について学ぶ。また、SDGsにおける17の課題を「自分ごと」として捉え、各種データも活用しながら課題解決に向けた幅広い実践力を養うことをねらいとする。																								
実務経験に 関連する 授業内容	設定したSDG sのゴールに関連する実践を行っている外部講師を招聘し演習を展開する。 龍谷学園SDGs推進担当教諭 中村 純一 氏、佐賀市役所 職員 内田 勝也 氏、唐津市リサイクル業者代表 松原 嘉之 氏 日本青年会議所九州地区佐賀ブロック協議会地方創生実現グループSDGs推進委員会 委員長 古賀 久達 氏 国際弁護士 堤 ゆうじ 氏、地球市民の会 大野 博之 氏、多久市まちづくり協議会 笹川 俊一 氏																								
授業の 到達目標	<p>(1) SDGsのゴールやターゲットをもとに、それぞれの課題解決のために取り組む意欲・態度を身につける。</p> <p>(2) SDGsに関わる各種データを活用しながら、問題を多角的な視点で捉えることができる。</p> <p>(3) SDGsの目標について、自己の専門領域に関する課題はもとより、幅広く課題解決への実践意欲を高める。</p>																								
学習方法	ディスカッション（オンライン型）とグループワーク（オンライン型・一部対面）によるハイブリッド型授業を展開する。 ※学修ポートフォリオや会議システム（Teams）を活用し、レポートの提出などを求めることがあります。																								
テキスト及 び参考書等	参考書籍：池上彰監修「世界がぐっと近くなる SDGsとボくらをつなぐ本」（学研プラス）※「SDG s 入門」で使用した教科書 参考資料：招聘する講師の分野に関する資料やHP等を参考にすることがある。																								
	到達目標																								
	態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			合計
	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	
比率	15			5	5	5			20	5	5	40													100
評価基準・方法																								評価割合%	
定期試験																									
小テスト等																									
宿題・授業外レポート	○			○			○			◎															30
授業態度	○			○						◎															30
受講者の発表	○			○			○			◎															30
授業への参加度				○						○															10
その他																									
合計																								100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)																									

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）			※項目
第1週	事前学習(予習)	「SDGs入門」で使用した教科書や資料等を読み返しておく。	
	授業	オリエンテーション①：「SDGs入門」の学習内容の振り返りと「SDGsの実践」シラバス説明と授業の進め方（グループワーク等）について質疑応答。	
	事後学習(復習)	所属する学科やコースに関連する課題、または個人的に興味がある課題を選んでおく。	
第2週	事前学習(予習)	前回の授業の内容を記録したメモや資料を確認しておく。	
	授業	オリエンテーション②：グループ発表、自己紹介、グループ内役割決め、スケジュール確認（教室とオンライン状況について）	
第3週	事後学習(復習)	グループ（役割）とスケジュールを確認して次回の授業の準備をする。Teamsのインストール等も確認しておく。	
	事前学習(予習)	対象となる先進事例について基本情報を調べておく	
	授業	SDGs先進事例について学ぶ（中学生とのコラボレーション・意見交換）	
第4週	事後学習(復習)	意見交換内容を記録しておく。	
	事前学習(予習)	SDG「3 すべての人に健康と福祉を」に関連する資料を調べ意見や質問を準備する。	
第5週	授業	「福祉推進、生活の質の向上とデータサイエンス」外部講師による実践紹介と質疑応答	項目②
	事後学習(復習)	テーマに関する実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	SDGs「2 飢餓をゼロに」（14 海の豊かさを守ろう・15 陸の豊かさを守ろう）に関して身近にある課題や解決策等について調べておく。	
第6週	授業	「廃棄食品と再利用について」外部講師による実践紹介と質疑応答	
	事後学習(復習)	テーマに関する実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	SDGs「10 人や国の不平等をなくそう」（1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに）に関して身近にある課題や解決策等について調べておく。	
第7週	授業	「異文化理解とSDGsについて」外部講師による実践紹介と質疑応答	
	事後学習(復習)	テーマに関する実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	第4週から第6週までの資料や自身の意見をまとめておく。	
第8週	授業	第4週から第6週までの振り返りとディスカッション	
	事後学習(復習)	これまでの実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	SDGs「1 貧困をなくそう」「2 飢餓をゼロに」に関連する資料を調べ意見や質問を準備する。	
第9週	授業	「貧困に関する取り組みについて」外部講師による実践紹介と質疑応答	
	事後学習(復習)	テーマに関する実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	SDG「1 住み続けられるまちづくりを」に関連する資料を調べ意見や質問を準備する。	
第10週	授業	「佐賀県の暮らしとSDGsについて」客観的データを基とした実践紹介と質疑応答	項目②
	事後学習(復習)	テーマに関する実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	SDGs「1 住み続けられるまちづくりを」（3 すべての人に健康と福祉を）に関連する資料を調べ意見や質問を準備する。	
第11週	授業	「高齢者にやさしいまちづくり」外部講師による実践紹介と質疑応答	
	事後学習(復習)	テーマに関する実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	第8週から第10週までの資料や自身の意見をまとめておく。	
第12週	授業	第8週から第10週までの振り返りとディスカッション	
	事後学習(復習)	これまでの実践紹介や質疑応答の内容に対する自分の考えをまとめる。	
	事前学習(予習)	これまでのすべての話題とその他のSDGsの取り組みについて関連する資料を集め、自身の意見をまとめておく。	
第13週	授業	発表の準備①：各グループでこれまでのディスカッションを基に主題を選び、発表の為の資料を収集、整理する。	項目⑤
	事後学習(復習)	次の準備に向けて情報の整理をしておく。	
	事前学習(予習)	第12週の資料にあるグラフや図表といった統計的データについて理解しておく。	
第14週	授業	発表の準備②：各グループで決まった主題について関連する統計的データ等（客観的データ）を用いたプレゼンテーションができるように準備する。プレゼンの練習を行う。	
	事後学習(復習)	プレゼンに向けて役割分担（発表者・発表の方法（PowerPoint・模造紙等））し準備を進める。	
	事前学習(予習)	プレゼンに向けて役割分担を確認して資料等を準備する。	
第15週	授業	前半（A、B、C、D）グループが「SDGsと私たちの○○」といったテーマで発表する。	
	事後学習(復習)	発表内容を記録し、最終レポート作成の為の準備をする。	
	事前学習(予習)	プレゼンに向けて役割分担を確認して資料等を準備する。	
第16週	授業	後半（E、F、G、H）グループが「SDGsと私たちの○○」といったテーマで発表する。	
	事後学習(復習)	発表内容を記録し、最終レポート作成の為の準備をする。	
	事前学習(予習)	発表内容を記録し、最終レポート作成の為の準備をする。	
備考	<p>・第3、4、5、6、8、9、10週（外部講師の話とディスカッション）については、代表グループが主として講師と（基本はオンラインで）ディスカッションして、他のグループはオンラインで視聴する。</p> <p>・第7、11週（講師の話聞いた後の週）については、全グループがグループ担当教員の指導の下でオンラインによるディスカッションを行う。</p> <p>・第2、12、13週については、3つの教室に分かれてグループワーク、プレゼンに向けたディスカッションと準備を行う。</p> <p>なお、外部講師を招いた講義とディスカッションについては日付が変更となる可能性もあります。</p> <p>事前・事後学習の時間は、講義科目は各90分、演習・実験・実習科目は各30分を原則とする。</p> <p>課題（試験やレポート等）に対するフィードバックを行います。</p>		

科目名	情報リテラシー I (実習を含む)										ナンバリング	LL_A1_03	開講 キャンパス	佐賀											
担当者	高元 宗一郎																								
開講年次	1	開講期	前期						単位数	2	必修・選択	必修													
開講学科	全学科						分類	専門教育科目 必修科目																	
授業の概要 及びねらい	コンピュータを効率よく利用するための基礎知識を講義し、利用方法の演習を行います。具体的には、コンピュータの基礎知識及び活用方法、インターネットの基礎知識及び活用方法、文書や資料の作成方法の講義及び演習を行います。																								
実務経験に 関連する 授業内容																									
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学内情報処理システムにおいて、基本的な利用を行うことができる。</li> <li>2) インターネットの概要が理解でき、Webページの閲覧や電子メールの送受信ができる。</li> <li>3) ソフトウェアの役割やハードウェアの連携が理解できる。</li> <li>4) 文書作成ソフトの基本動作、文字入力やビジネス文書の書式に基づき作成することができる。</li> <li>5) 文書内で表や図形の作成ができ、文書の中に挿入・編集することができる。</li> <li>6) 作成した文書の体裁を整え、印刷することができる。</li> <li>7) 表計算ソフトにおいて、基本的な表を作成することができる。</li> <li>8) 与えられたデータから、基本的なグラフを作成することができる。</li> <li>9) 与えられたデータを簡単な関数等を使い、計算及びデータ処理を行うことができる</li> </ol>																								
学習方法	講義及びパソコンを用いた演習を行います。 ※新型コロナウイルス感染拡大状況により、授業の一部または全部を遠隔授業に切り替える場合があります。																								
テキスト及 び参考書等	テキスト：30時間でマスター office2019 実教出版株式会社																								
	到達目標																								
	汎用的能力要素										専門的能力要素								合計						
	態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			態度・志向性			知識・理解				技能・表現			行動・経験・創造的思考力		
	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)		1)	2)	3)	1)	2)	3)
比率	10			10	20	20		10	30																100
評価基準・方法															評価割合%										
定期試験																									
小テスト等																									
宿題・授業外レポート	○			○			◎															60			
授業態度																									
受講者の発表																									
授業への参加度	○			○			○															40			
その他																									
合計															100										
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)																									

授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)			※項目
第1週	事前学習(予習)	今までのコンピュータの使用経験を振り返る	
	授業	学内情報処理システムの利用方法	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第2週	事前学習(予習)	電子メールの基本機能を確認する	
	授業	学内情報処理システム(電子メール)の利用方法及び情報モラルについて	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認する	
第3週	事前学習(予習)	コンピュータの動作原理や歴史について調べる	
	授業	コンピュータの基礎知識(コンピュータの動作原理や歴史等)	
	事後学習(復習)	講義内容を振り返る	
第4週	事前学習(予習)	インターネットの動作原理や歴史について調べる	
	授業	インターネットの基礎知識(インターネットの動作原理や歴史、インターネット上のモラル等)	
	事後学習(復習)	講義内容を振り返る	
第5週	事前学習(予習)	コンピュータの基本的操作について思い出しておく	
	授業	コンピュータの基本的操作(Windowsの基礎およびタッチタイピングと日本語入力)	
	事後学習(復習)	Windowsの操作、タッチタイピングの操作について、確認する	
第6週	事前学習(予習)	教科書第3章1と2を読んでおく	
	授業	MS-Wordの機能と操作(画面構成、日本語入力システム等)	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第7週	事前学習(予習)	教科書第3章3～9を読んでおく	
	授業	MS-Wordによる文書の作成(文の入力、ページ設定、印刷、文書作成、複写・削除・移動等)	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第8週	事前学習(予習)	教科書第3章10～12を読んでおく	
	授業	MS-Wordによる文書の作成(編集機能、箇条書き、文字飾り、表の作成、ビジュアルな文書等)	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第9週	事前学習(予習)	教科書第5章1～4を読んでおく	
	授業	MS-PowerPointの機能と操作(画面構成と基本的な操作)	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第10週	事前学習(予習)	教科書第5章5～10を読んでおく	
	授業	MS-PowerPointによるスライドの作成(文字、図形、グラフ等)	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認する	
第11週	事前学習(予習)	教科書第5章11～13を読んでおく	
	授業	MS-PowerPointのその他の機能と操作(テーマの設定、配布資料等)	
	事後学習(復習)	演習内容を確認する	
第12週	事前学習(予習)	教科書第4章1～4を読んでおく	項目 ⑤
	授業	MS-Excelによる表の作成	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第13週	事前学習(予習)	教科書第4章10を読んでおく	項目 ⑤
	授業	MS-Excelによるグラフの作成	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第14週	事前学習(予習)	教科書第4章6、11～12を読んでおく	項目 ⑤
	授業	MS-Excelによる計算(関数の利用等)	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
第15週	事前学習(予習)	教科書第4章13を読んでおく	項目 ⑤
	授業	MS-Excelのその他の機能(データベース機能等)	
	事後学習(復習)	講義中の操作について確認しておく	
備考	<p>演習が中心の講義となりますので、極力欠席しないでください。もし、欠席した場合は、各自で講義内容を把握するように努めてください。なお、上記授業計画はあくまで予定であり、講義の進度によって若干内容を変更する場合があります。</p> <p>事前・事後学習の時間は、講義科目は各90分、演習・実験・実習科目は各30分を原則とする。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックを行います。</p>		